

岐阜地区レポート

長良川エクスカージョン「長良川の歴史と治水施設を学ぶ」

エクスカージョンは、その地域にある歴史的資産や、社会施設などに触れながら、ガイドの説明に耳をかたむけることで深く学習するものです。地域体験型学習といわれています。

岐阜地区では、大きな洪水となると家の土台まで水が来る長良川の旅館街の区域を中心に川の中にある治水施設を見学し、洪水の恐ろしさとそれに立ち向かう知恵を学習しました。最後には、地区内に閉じこめられた雨が水かさを増やさないように川の川へ出ているのが排水機場でその仕組みと大きさを実感しました。

また、排水機場においてあった災害時の緊急車両を操作体験することができました。

日時 平成21年8月10日(月) 小雨
参加者 16名(岐阜市内の小学生と父兄の皆様)
行程 中部建設協会岐阜支所 ～ 岐阜駅(集合)会議室で治水施設の役割を学習 ～ 長良川旅館街にある鶺鴒観覧船造船所見学 ～ 長良川の締切堤防見学 ～ 長良川親水護岸 ～ 長良川特殊堤 ～ 長良川聖牛 ～ 両満川排水機場 ～ 岐阜駅(解散)



70年前までここで長良川が分かれて堤防の向こうに流れてました...



このエンジンはジェット機と同じだよ...



操作ができた災対車の前で全員集合

担当 (社)中部建設協会 エクスカージョン係